

# 毛呂山町の小中一貫教育

学校教育の基本理念

地域をつなぎ「いのち」輝く日本一の学校づくり

めざす子ども像 夢をもち 世界にはばたく 毛呂山の子ども

## <導入のねらい>

- ①小・中学校9年間の見通しをもち、連続性のある学習活動を展開し、学力や体力の向上を図る。
- ②小学校から中学校へのスムーズな移行により、中一ギャップを解消して中学校段階での学習のつまずきや不登校の解消を図る。
- ③子どもの学びの連続性について、小・中学校教職員の相互理解を進め、学習指導・生徒指導等の充実・改善を図る。
- ④小・中学校間の連携を通して、学校と家庭・地域との協働体制をつくり、子どもの教育環境の充実を図る。
- ⑤小・中学生の交流や合同行事などを通して、中学生には、下級生に対する思いやりとリーダーシップの育成を、小学生には、目標にすべき身近な生徒像の具象化を図る。

## <義務教育9年間のとらえ方>

- 子供たちの発達段階を考慮し、各中学校区の実態に応じて『4・3・2』の区分（一例）による教育活動を実践します。
- 小・中学校9年間の見通しをもち、連続性のある教育課程を編成し、「いのちの教育」を通して子どもの「生きる力」を育成します。
- 全町で取り組む内容と、各中学校区の特性を活かした内容を合わせ、教育課程を編成・実施します。



## ◎施設一体型・施設隣接型でこのような小中一貫教育をめざします！

### ①教育内容の充実

- ・ 小学校での教科担任制の強化
- ・ 中学校での教科センター方式の導入

★小学校と中学校の教員が同じ校舎または敷地にいるため、教員同士の連携がしやすくなります。

★中学校に「数学室」や「外国語室」を整備し、生徒の「学びたい」気持ちを引き出すことができます。（数学室…数学の時間に生徒がその教室に移動し、数学の学習環境が整備された教室で学習します。）

### ②児童生徒の交流

- ・ 異学年理解や協働学習の促進
- ・ リーダーシップや思いやりの育成

★1学年に複数の学級があることで、多様な考えに触れ、認め合い、切磋琢磨することができます。そのような環境の中で、意欲や成長をより引き出すことができます。

★小学生は先輩の姿を目標に、中学生は後輩への思いやりの気持ちをより大切に学ぶことができます。

### ③家庭・地域との連携

- ・ 会議室やコミュニティルーム、コミュニティスペースの整備
- ・ 義務教育9年間の連続した協働

★コミュニティ・スクールの機能を生かし、学校が地域コミュニティの拠点となるようにします。

★保護者や地域の方にとっても、より効率よく学校との協働ができます。家庭・地域と一体となって児童生徒を育成します。



## ◎小中一貫校開設で充実する教育活動

### 学びのつながり

#### 乗り入れ授業

- ＜目的＞ ★中学校教員によるより専門的な指導  
★小学生の中学校への不安の軽減 など

##### 【現在】

- 年間を通じ、中学校教員が小学校に向き、小学校教員と2人で授業を実施（主に6年生）。
- 小学校の教員がメイン。中学校の教員が個別指導。
- 週1時間



##### 【小中一貫校】

- 週2時間等現在よりも多い時間実施可能
- 小学校から中学校への乗り入れ授業も実施可能



##### 【令和6年度】

毛呂山小：数学 泉野小：音楽  
川角小・光山小：生徒指導

#### 小学校の教科担任制

- ＜効果＞ ①児童にとってよりわかりやすい授業づくりにつながる。  
②小・中学校間の円滑な接続を図ることができる。（中学校は教科担任制）  
③児童が安心して学校生活を送ることができる。（複数の教師が児童にかかわる）  
④教師が児童と向き合う時間をより多くとることができる。

##### 【現在】

- 高学年を中心
- 担任以外の教員による授業



##### 【小中一貫校】

- 1学年が2学級以上  
⇒学年内での教科担任制が可能
- 中学校教員の教科担任制も可能

##### 【令和6年度】

毛呂山小：理科・音楽 など  
川角小：外国語・理科・音楽 など  
光山小：理科・音楽 など  
泉野小：外国語・理科・音楽 など



# 人と人のつながり

## 小学生と中学生の交流

★中学生には、下級生に対する思いやりとリーダーシップの育成を、小学生には、目標にすべき身近な生徒像の具象化を図ります。

・合同クラブ活動    ・合同一斉下校    ・合同あいさつ運動    ・合同音楽会    ・陸上教室    等

### 【現在】

- ・小学校と中学校の日程調整
- ・年数回程度



### 【小中一貫校】

- ・現在よりも機会が増える



※「毛呂山町立小・中学校編成計画」では、2つの小学校を統合します。  
現在、統合を見据えて、2つの小学校どうしの交流も進めています。  
（5年生：合同田植え・稲刈り体験    6年生：ドッチビー大会    等）

## 地域住民や外部人材等との交流

★地域の方々がゲストティーチャーとして授業に参加し、豊富な知識や経験を活かした学習を行います。

- ・手話体験、車いす体験（いのちの教育）
- ・書きぞめ支援（書写）
- ・ミシン学習（家庭科）
- ・歴史民俗資料館（社会科）
- ・給食配膳補助

など



★毛呂山町の小中一貫教育は、コミュニティ・スクールに支えられています！

## ◎コミュニティ・スクールと小中一貫校教育

中学校区で地域とつながり、子どもを育てていきます

- ◆コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校で、教育委員会が指定する学校を指します。
- ◆コミュニティ・スクールは、教育委員会から任命された保護者や地域の方々（学校運営協議会）が、学校の運営方針を承認したり、学校を支援する活動のため学校と地域とをつなぐパートナーとなったりする「学校と地域を結ぶ仕組み」のことです。
- ◆中学校区を単位として、小・中学校が多様な人とのつながりを作ることで、学校だけではできない貴重な学習体験など、学びの機会を作っています。

